

キラリ 熱中時間

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

プロ野球『中日ドラゴンズ』からドラフト指名



はななきとくはる
花咲徳栄高校野球部
しみずたつや
清水達也さん

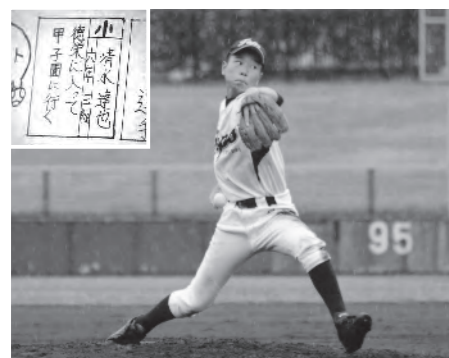
埼玉県勢初の 甲子園優勝に尽力

まだあどけなさの残る笑顔は、マウンド上では鋭い視線に変わります。清水達也さんは、今年の夏に行われた『第99回全国高等学校野球選手権大会』に花咲徳栄高校の投手として出場し、見事、埼玉県勢初となる優勝を果たしました。地域の先輩に憧れ同校に進学した清水さんは、練習に練習を重ね、今回の優勝をつかみ取りました。

清水さんが野球を始めたのは藤沢小学校1年生の時でした。その後、藤沢中学校でも野球を続け、投手となりました。小・中学校時代の事を伺うと、「小学生の時は投手だけでなく、いろいろなポジションをやっていました。中学生では勝ち負けよりも、仲間と野球ができるということが楽しかったです。」と当時の事を思い出しながら笑顔で話してくれました。

また、今回の活躍については「自分一人の力だけで達成できたのではなく、両親や家族のサポートはもちろん、深谷の皆さんの温かい応援からとても大きな力をいただきました。ありがとうございました。」とも話してくれました。

10月26日に行われた『プロ野球ドラフト会議』で中日ドラゴンズから指名を受け、これからはプロ野球選手としてより一層の活躍が期待される清水さん。皆さんも、地元深谷出身の選手としてぜひ注目してください。



▲中学生時代の清水さん。(左上)小学校の卒業アルバム。出場だけでなく見事に優勝しました。

数字でみつけた!

深谷の イイトコ♡

FUKAYA



第9回 これからが旬! 深谷ねぎ

より一層寒くなってきて、これからが冬本番です。冬に旬を迎えるのが、ご存じ『深谷ねぎ』です。市内のネギ作付面積は477ヘクタールで、市町村別で全国第1位です。477ヘクタールと言われてもわかりづらいのですが、深谷ビッグタートルの床面積が約1.2ヘクタールなので、約400個分となります。

鍋物や麺類の薬味など『料理の脇役』の印象が強い『ネギ』ですが、最近ではその甘みを生かした食べ方として『深谷ねぎの一本焼き』が好評で、『深谷ねぎまつり』をはじめ、さまざまなイベントで行われています。



▲炭火で焼いた『深谷ねぎの一本焼き』。自分で焼けば、より一層おいしい!

ふっかちゃんの日常から
深谷が見えてくる

ふっか 散歩



市内のイルミネーションスポット

今月は、市内にあるイルミネーションスポットを3カ所紹介するね! まずは、『JR深谷駅北口ステーションガーデン』。普段からきれいにしてくれている市民ガーデニングボランティアさんが飾り付けをしてくれたよ。今では、冬の深谷駅北口の名物になっているねえ。



◀次に『青洲公園』だよ。ここは『青洲公園をキレイにする会』のボランティアさんがライトアップしてるんだ。今年で5回目だけど、年々豪華になって、今年は約5万球が光り輝いているんだって!



ふっかちゃんのつぶやき
イルミネーションを見に行くときには、寒いから風邪をひかないように、暖かい服装で見に行こうねえ!
Y(o0w0o)Y

▲最後にJR岡部駅南側の『希望が岡公園』だよ。ふかや市商工会青年部と埼玉工業大学が協力してライトアップしてるんだ。イルミネーションが点灯するプログラムは大学生が考えているんだって! みんなも楽しんでねえ!



心の広場

大寄小学校5年(現6年)
田島 七海さん



しょうがいのある人

わたしが道を歩いていた時、目の見えない高れい者が歩いていました。その人は、点字ブロックについて、大変そうに歩いていました。

ところが、目の見えない人のためにある点字ブロックの所に車を止めたり、自転車を止めたりしている人がいました。

私は、「どうして、点字ブロックの上に車を停めてしまうのかな。車が停めてあったら、目の見えない人にとっては、不便なのではないかな。」と思いました。

もし、車が停めてあったら、まわりの人が「ここに車を停めるのはだめです。」と声をかけたりすれば、目の見えない人にとっては、少しでも、便利になるかもしれないと思います。

目の見えない人だけではなく、足の不自由な人もいます。

私のおじいちゃんは、のうこうそくという病気で左半身が動かなくなってしまったので毎日車イスに乗って生活しています。

足の不自由な人は、車イスに乗ったり、つえをついたりしています。足や目、手や耳にしょうがいのある人は、毎日の生活をしていく上で不便なものもあります。わたしたちがとても便利だと思っているテレビは、目や耳のわるい人は見えなかったり、聞こえなかったりして不便だと思っているかもしれません。階段は足の不自由な人にとっては、とても大変だと思います。物を持つのは、手の不自由な人にとっては、大変だと思います。

ですから、これからもっとしょうがいのある人が便利だと思うものを作って、みんなが笑顔になれるといいなと思っています。

